

世界かんがい施設遺産

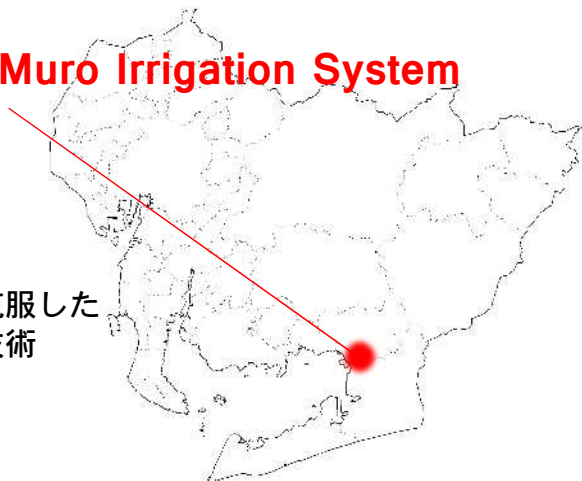
まつばらようすい・むろようすい

松原用水 ・牟呂用水

[愛知県・豊橋市 他]

Matsubara-Muro Irrigation System

度重なる災害を克服した
先進的な発想と技術

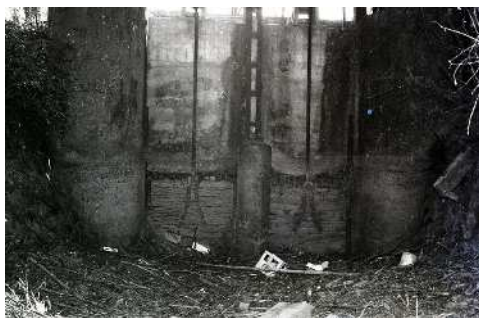


一文字堰である「日下部井堰」絵図（松原用水）

- 古くは1567年に橋尾井堰を築いたことに始まる。通水により、確たる水源がなかった東三河地域は一大農業地帯に発展。
- 取水源である「暴れ川」豊川は、度重なる洪水を引き起こしてきた。
- 「一文字井堰」や「自在運転樋」、「人造石工法」など、先進的な発想・技術を導入し、度重なる洪水災害との戦いを乗り越えてきた。
- 明治2年から昭和42年まで松原用水旧取水口があった現豊川市にて、平成30年12月に発掘調査が行われ、旧取水口樋門が発掘された。その折りに人造石使用や工事仕様書も確認された。



旧取水口樋門発掘の様子



旧取水口樋門とハンドル



自在運転樋（牟呂用水）



牟呂松原幹線には人造石工法部分が残存

